

香良洲地区防災計画 津波

香良洲町の概要・特性

- ・三重県津市沿岸部の最南端に位置
- ・雲出川と雲出古川、伊勢湾に囲まれた三角州(3.9km²)
- ・地区内の大半が海拔2m未満の平坦地
- ・人口 / 世帯数 4,787人 / 1,997世帯

(平成28年9月30日現在)

南海トラフ地震発生時の被害想定

理論上最大震度 7 30cm津波浸水時間 61～75分
理論上最大地点:香良洲町浜風公園前 6.30m

香良洲地区の津波避難ビル 7ヶ所

- ・香海中学校 ・香良洲小学校 ・香良洲庁舎 ・まつぼっくり作業所
- ・香良洲歴史資料館 ・掘割ポンプ場 ・川口ポンプ場 総収容人数 3千人

津波を伴わない地震指定避難所 7ヶ所

- ・香海中学校 ・香良洲小学校 ・香良洲公民館 ・まつぼっくり作業所
- ・香良洲歴史資料館 ・サンデルタ香良洲 ・香良洲体育館

地区の目標 「高まる意識 つながる思い みんなが安全・安心に暮らせる 防災まちづくり」

地区の5つの課題と3つの取組方針

1. 自治会と自主防災会の役員の重複等により防災活動が停滞している
2. 地域の活動主体の役割分担が不明確である

3. 地域住民の防災意識が不足している

4. 避難時の行動計画・ルールが十分に共有されていない
5. 災害時における要配慮者への対策が不十分である

① 共助のための体制づくりを進めます

役員の重複を解消・・・H26年度の地区防災計画の策定に携わった主なメンバー及び、専門知識を有する消防団関係者で組織する理事職(任期5年)を新たに設置し、事業の継続性を確保した組織の自立化を進める (参考:自治会2年)

② 一人ひとりの防災意識を高める防災教育を進めます

みえ防災コーディネーター等の人材を活用し、各区で防災講演会を開催(9回)
次世代を担う若い世代へ防災教育・・・中学生の地区防災訓練への参加、防災講演会や高茶屋までの避難訓練
様々な切り口でのアプローチ・・・防災アンケートやチェックポイントに津波避難ビルを巡回する健康ウォークの実施、小・中学校への防災ポスター、標語の作成依頼、コンクールの実施

③ 避難に備えたルールづくりを進めます

津波避難については「より遠く、より高く」を原則・・・高茶屋方面の高台への避難と高齢者や障がい者、妊婦、子どもなどの津波避難ビルの利用ルール
タウンウォッチングを活用した地域の合意形成・・・(仮称)香良洲高台防災公園の完成に伴う避難ルートの確認と車を使用することを視野に入れた避難ルールの作成

完成が待たれる(仮称)香良洲高台防災公園

津波による浸水が予測される香良洲地域に、市は国県との連携の下、公共事業の排出土を有効利用した高台を造成し、平時には公園として、また、津波災害時には津波避難にも活用できる防災公園を整備中

海拔10m 面積3.6ha (190m×190m)
約20,000人(車では約2,000台)規模の避難が可能
完成 2021年度、2017年春 避難場所として供用

